

## 学校のように

### 第三回（令和3年6月9日）「磯部建設工業株式会社と百五銀行がヘッドセットを寄贈」

6月9日（水）、校長室において志摩市磯部町にある磯部建設工業株式会社様（以下、磯部建設）と百五銀行磯部支店様が、本校のICT教育に役立ててほしいと、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォン）を40台寄贈していただき、その贈呈式がありました。

磯部建設様は、志摩市磯部町で75年間、土木・建築業を営まれている地域に密着した会社です。今回、百五銀行のSDGs私募債を活用し、「少しでも地元唯一の工業高校生の役に立てられれば」とのご厚意で実現しました。

この日は、同社の宮田新一総務部長、同行の森下哲也支店長らが出席されました。宮田様からは、「当社は誠実さと技術力で皆様の信用を得ています。現在、国道167号の道路工事や地元海岸の高潮対策工事など行っています。」といったお話をいただきました。私も誠実・信用・技術力という言葉が、伊勢工業高校の教育方針である「ひとづくり・ものづくり」にぴったりと合致するぞと、大変共感しました。「ひとづくり」はまさに誠実さをもって周囲からの信頼を得る人間教育であり、「ものづくり」は時代とともに進歩する技術力を身につけようとする力の育成でもあるからです。

いただいたヘッドセットはICT授業で生徒が使用するコンピュータに活用させていただきます。

新型コロナウイルス感染症のため、生活環境や業務スタイルが大きく変わりました。この環境の変化に対応しながら安全第一に工事に努められている会社の誠実な姿勢はアフターコロナの時代に、きっと今よりも大きな「地域からの信頼・信用」という形でかえてくるはずであり、伊勢工業高校の教育活動もそうありたいと感じました。



寄贈式の記念撮影（右二人目から）

「百五銀行磯部支店」森下哲也支店長、  
「磯部建設工業株式会社」宮田新一総務部長、そして私。